

機器利用技術講習会のご案内

【顕微ラマン分光光度計】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年6月25日（水）

① 13：20～ ② 15：20～

平成26年7月30日（水）

③ 13：20～ ④ 15：20～

各コースの講習時間は約2時間です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）

当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース（①～④）とも1社のみ。参加人数は1社3名まで

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：顕微ラマン分光光度計

物質にレーザ光を照射すると、その一部は散乱されます。この散乱光のほとんどは入射光自身ですが、これ以外に物質との相互作用により入射光の波長が変化した微弱な散乱光（ラマン光）も存在します。この微弱な散乱光は、分子振動に関する情報を含んでおり、これを解析することにより、物質の化学構造や結晶構造に関する情報が得られます。

特に、このラマン分光は、ダイヤモンドをはじめとした炭素材料（図1）、無機物の定性定量分析、品質管理に大きな力を発揮します。

例えば、鉄さびの酸化状態、酸化チタンの結晶形態やプラスチックの構造を常温常圧にて分析する事ができます。

本講習会は、はじめてラマンに取り組もうとされる方を対象とし、ラマン分光の基礎、顕微ラマン分光光度計の基本原理等をわかりやすく解説しながら、実際の測定を通じてラマン分光法の理解を深めていただきます。なお、実習は装置付属の標準試料を用いて測定を行います。（持ち込み試料の測定は行いません。）

本装置は(財)JKAの平成20年度「公設工業試験研究所の設備拡充補助事業」により導入した機器です。

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 (TEL:0725-51-2518)

繊維・高分子科
顧客サービス課
繊維・高分子科

研究員 田中 剛
主任研究員 渡辺 義人
総括研究員 櫻井 芳昭

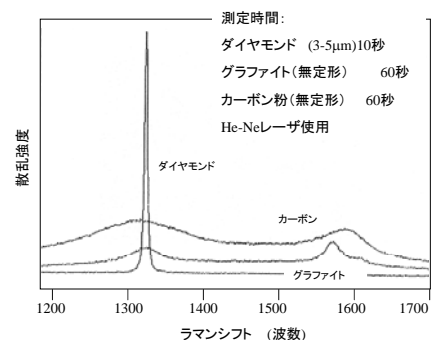


図1 炭素材料の識別

